

取り組むこと				
職場づくり と 働きやすい 女性活躍の 推進策1	施策1 働きたい女性・働き続けたい女性の活躍を進める 女性の仕事やキャリアを支援し、働きたい女性と、仕事を続けたい女性の活躍を進めます。 主な取組:女性の仕事の支援 会社の女性管理職(リーダー)を育て、昇進を進める 会社を作る女性の支援	施策2 だれでも働きやすく、暮らしやすい社会をつくる 女性の活躍を進めたり、仕事と生活のバランスを取るために、だれでも働きやすく、活躍できる職場を増やしていきます。 主な取組:働く時間や場所が選べるなど、いろいろな働き方ができるようにする 仕事をしながら子育て・家族の世話をできるようにする	施策3 市役所での女性の活躍、男女共同参画と、働き方の見なおし 横浜市役所での女性の活躍や、男女共同参画を進めます。また、市役所の働き方を見なおします。 主な取組:市役所での女性の活躍 だれでも働きやすい職場づくり 市の大変なことを話し合う会議で女性の割合を増やす	
政策2 安全・安心な暮らしの実現	施策4 身近な人からの暴力(DV)を止める、性別にかかわらずすべての暴力をなくす 身近な人からの暴力(DV)を受けた人を、いろいろな人が協力して、続けて支援します。暴力が起こらないように若い人に教えたり、若い人が相談しやすくなります。性別によるすべての暴力をなくすために呼びかけたり、暴力を受けた人を支援します。 主な取組:DVの相談支援の組みをつくる 若い人のデータDV・性暴力を止める 暴力が起こらないように呼びかける	施策5 困りごとがある女性を支援する 困りごとがある女性を、いろいろな人が協力して支援します。 主な取組:困りごとがある女性の支援 ひとりで子どもを育てるお母さんの仕事の支援 外国人・障害者などの支援	施策6 地域の災害への備えに男女が協力して参加する 地震、大雨、台風などの災害へ備えるための、女性のリーダーを育てます。また、地域のみなさんに、女性が参加することの大切さを知ってもらえるように取り組みます。災害が起きたときに、男性と女性で必要なことが違うことに気をつけます。 主な取組:地域の災害への備えに男性と女性が参加する 消防団での女性活躍を進める	施策7 いろいろな性のあり方を支援する、よく知ってもらう いろいろな性のあり方(※)をよく知ってもらうように、みなさんにお知らせします。LGBTの人やいろいろな性の人が安心してすごせるように、みんなで工夫していきます。※いろいろな性のあり方:自分の性別をどう考へているか、どんな形や見た目の体をしているか、だれを好きになるか、などか人それぞれ違うこと 主な取組:いろいろな性のあり方について知ってもらう LGBTやいろいろな性の人の相談・支援 パートナーシップ宣誓制度
生涯活躍できる地域・社会づくり と 誰もが生き生きと	施策8 仕事と生活のバランスを取り、家事・子育て・家族の世話を家族で分担する 男性と女性の役割を決めつけず、家事を家族で分担するようにしたり、家の負担を少なくしたりします。 主な取組:仕事と生活のバランスを取ったり、家事・子育て・家族の世話を家族で分担できるようにする	施策9 年齢いや性別に合った健康支援をする 年齢いや、性別によって違う健康の問題に対し、必要なサポートをします。また、健康について正しく知ることができるよう支援します。 主な取組:だれでも安心して出産・子育てができるようにする 女性に多いがんの対策 性についての正しい知識を広める	施策10 地域や教育で男女共同参画を進める だれでも、性別に関係なく、一生活躍できるように、性別による「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)」がなくなるように取り組みます。子どもや若い人が、性別に関係なく自分らしく生きられるように、学ぶ機会をふやします。 主な取組:地域で性別に関係なく活躍することの大切さを広める 困りごとがある男性を支援する 若い人に男女共同参画を知ってもらう	

成果指標		
男女共同参画社会が、どのくらい進んでいるかを知るための目安です。		
成果指標(成果の目安)	いまの数字	目標
管理職(課長級以上)の女性の割合	市内企業 18.8% (2023年) 市役所 21.0% (2025年)	30%
育児のための休みを取った男性の割合	市内企業 40.6% (2023年) 市役所 80.0% (2024年)	85%
男性と女性の家事・子育て・家族の世話の分担(平日・共働き世帯)	男女の家事の時間比2:1 (2024年)	男女が同じように分担するようにする
DVについて、よく知っている市民の割合※	精神的暴力 58.0% (2024年) 性的暴力 79.9% (2024年)	それぞれ10%増える
困りごとがある女性を、みんなで支援できていると思う市民の割合	18.2% (2024年)	10%増える

計画の進め方
●市の職員は、男女共同参画についてよく理解するように努力します。
●市は、市役所での男女共同参画の考え方を入れて、取組を進めます。
●これまで男女共同参画センターを知らなかったり、使うことがなかった市民にも、知ってもらったり、使ってもらえるようにします。
●そのため、みなさんの近くに出かけて活動したり、地域の団体や会社などと一緒に取り組んだりします。
●市民や会社、市民の団体などが協力して、いろいろな方法で取り組むことによって、市民のみなさんに、男女共同参画についてよく知ってもらえるようにします。